

CASBEE_Sapporo2014v1.2
北4東6周辺地区第一種市街地再開発事業(第一工区)施設建築物等新築工事 南街区

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目					
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					
	A	B	C	D	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.2	
Q1 室内環境						0.40	-	-	3.0	
1 音環境						3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					Dr-50	-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					Lr-45	-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						2.0	0.35	2.1	1.00	2.1
2.1 室温制御						2.5	0.50	2.5	0.50	
1 室温						1.0	0.63	1.0	0.63	
2 外皮性能	A				共)窓:SC=0.4,U=2.33,外壁・床:U=0.42 住)省エネ等級4相当	5.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						2.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						2.6	0.25	3.7	1.00	3.3
3.1 昼光利用						1.8	0.30	3.4	0.50	
1 昼光率					住)10.55%	1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備	A					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	A				住)カーテン+庇(バルコニー)	3.0	1.00	4.0	1.00	
2 眩り防止対策						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	4.0	1.00	3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆建材を全面的に使用し、住戸はVOCにも同様に配慮	4.0	1.00	5.0	1.00	
2 化学汚染物質						-	-	-	-	
4.2 換気						3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1 機能性						3.4	0.40	3.8	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応					Gbitクラスのブロードバンド利用可能 建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.30	2.0	0.40	
1.2 心理性・快適性						-	-	3.0	0.50	
1 広さ感・景観						-	-	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	1.00	-	-	
3 内装計画						3.0	0.30	-	-	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
3 維持管理業務						-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					劣化対策等級3相当	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B				住:壁、天井)20年(ビニルクロス貼り)床)20年(ビニル床シート貼り)	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B					4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B				給水:ホリエチレン管(B)、汚水・雑排水:VP(B)、E不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	B					2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.0	0.30	3.6	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり						-	-	4.2	0.50	
1 階高のゆとり					各階階高3.0m以上	-	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ						-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性						3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2

北4東6周辺地区第一種市街地再開発事業(第一工区)施設建築物等新築工事 南街区

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		周辺建物と調和のとれた計画、色彩は全体的に優しい色合い等	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				断熱等性能等級4相当	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.79	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A				LED照明の採用、潜熱回収型給湯器の採用	5.0	1.00	-	-	
4 効率的運用						3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング	A					-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	
集合住宅の評価						3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A				エネルギー消費に関する表示機器を採用	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水便器、節湯水栓の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			内装が乾式工法で分別容易、PS・天井内配管で設備との錯綜回避	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		B				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		B			LCCO2排出量を参照値より抑制	4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B			必要対策量以上の流出抑制を行っている	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					適切な駐輪・駐車場の整理。駐車場の導入路を数カ所設置	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	1.00	-	-	
2 振動						-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						2.3	0.40	-	-	
1 風害の抑制						2.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					光害チェックリストの過半満たず、広告物照明がない	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	